| 学校番号 | 1202 |
|---|---|

# 令和３年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 地学基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　改訂　地学基礎　（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

理科入門で学んだプレートテクトニクスや、科学と人間生活で学んだ太陽系の天体などについて、もっと専門的に学習します。教科書・板書のほか、視聴覚教材なども用います。

授業では必要なことをノートに記録し、覚えることは家庭学習などの復習でしっかり身につけてください。

我々の生きる地球がいかに貴重で稀有な存在であるか、また圧倒的な大きさの自然の力について、人間の影響力について、正しく認識し、よりよく生きる一助としてください。

## 2　学習の到達目標

・地球や日本をとりまく環境への関心を高める。
・地学の基本的な概念を理解する。
・宇宙の中の天体としての地球を認識し、かつ、地球の変動を理解する。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:観察・実験の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地学的な事象に関心をもち、学ぼうという積極性が現われている。 | 論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりする。事実に基づいて科学的に判断し、図表や文章で表現する。 | 観察・実験の技能を修得し、過程や結果から自らの考えを導き出す。 | 地学的な事象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。 |
| 評価方法 | 授業態度<br>ノート等提出物 | 授業中の発言<br>ノート<br>報告書 | 授業態度<br>報告書 | ノート等提出物<br>定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて学期のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 宇宙における地球 | 宇宙の構成 | ○ | | | | a.宇宙のはじまりに関心を持っている。<br>d.太陽の表面現象について理解し、知識を身につけている。太陽系の天体について、種類・特徴などに関する知識を身につけている。 | 授業態度<br>ノート内容<br>小テスト<br>定期考査 |
| | | 太陽 | | | | ○ | | |
| | | 太陽系の中の地球 | | | | ○ | | |
| | 活動する地球 | 地球の姿 | | | ○ | | b.火山活動や地震について学んだことを人に伝わるように表現できる。<br>c.地球の大きさに関する計算ができる。 | 授業態度<br>ノート内容<br>小テスト<br>定期考査 |
| 2学期 | | 火山活動と地震 | | ○ | | | | |
| | 移り変わる地 | 地層や岩石と地質構造 | | | | ○ | a.環境の変化と生物の進化について、関心を持って学ぶことができる。<br>d.岩石の種類と生成について理解している。 | 授業態度<br>ノート内容<br>小テスト<br>定期考査 |
| | | 地球環境と生物界の変遷 | ○ | | | | | |
| | 大気と海洋 | 地球の熱収支 | ○ | | | | a.大気の構成や地表のエネルギー収支が生活に大きく関わっていることを理解し、関心を持って学ぶことができる。<br>d.大気や海洋の循環と気候の関係を理解している。 | 授業態度<br>ノート内容<br>小テスト<br>定期考査 |
| 3学期 | | 大気と海洋の運動 | | | | ○ | | |
| | 地球の環境 | 地球環境の科学 | | ○ | | | b.地球温暖化について、現状・課題・高校生ができることなどを文章で表現できる。<br>c.自然災害と防災について調べたり確かめたりすることができる。 | 授業態度<br>ノート内容<br>定期考査<br>発表内容 |
| | | 日本の自然環境 | | | ○ | | | |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。